

笑顔 TOPICS

nuovo 能登サテライト 被災地に拠点開設



拠点紹介 nuovo川島(埼玉県)



サブスク会員自己紹介 平井道子さん



災害協定・連携先 (敬称略)

- ・石井食品株式会社 (非常食)
- ・株式会社AirX (ヘリコプター)
- ・有限会社ビビッド (電源車)
- ・POWERDRIVE R117 (ポート・船・キャンピングカー)
- ・株式会社e-nature (キャンピングカー)
- ・一般社団法人オフロードビークル協会 (バギー・モーター)
- ・真言宗豊山派仏教育年會(寺院ネットワーク)
- ・わらび野観光株式会社 (バス)
- ・株式会社カンバーランド・ジャパン (トレーラーハウス)
- ・株式会社ラックス (エアードーム)
- ・株式会社アクティオ (重機・建機)
- ・株式会社アイエー (ソリ)
- ・モトローラ・ソリューションズ (無線・トランシーバー)
- ・株式会社Goo-light (映像・ドローン)
- ・中部観光株式会社 (バス)
- ・株式会社RSS 高喜屋 (ATV バギー)
- ・NEXCO 東日本新潟支社
- ・NEXCO 東日本関東支社
- ・NEXCO 中国
- ・株式会社NEXCOエンジニアリング新潟
- ・中野市

- ・小布施町
- ・株式会社コケナワ (携帯トイレ)
- ・株式会社C-SOS (簡易トイレ)
- ・国際災害対策支援機構 (ヘリコプター)
- ・匠航空 (ヘリコプター)
- ・長野県社会福祉協議会
- ・小布施町社会福祉協議会
- ・辰野町社会福祉協議会
- ・茅野市社会福祉協議会
- ・長野県NPO センター
- ・日本財団 (活動補助)
- ・DRT JAPAN (重機・技術系)
- ・OPEN JAPAN (重機・技術系)
- ・DEF災害エキスパートファーム (重機・技術系)
- ・KEEN JAPAN (シューズ)
- ・Patagonia (アパレル)
- ・株式会社信越車体 (車両整備)
- ・ジリリタ株式会社 (健康増進)
- ・株式会社サンコーレンタル (重機・建機)
- ・株式会社インス (アパレル)
- ・須坂市
- ・HDS K9 (捜索救助犬)
- ・日本特種ボディ株式会社(キャンピングカー)
- ・長野県
- ・長野県危機管理課
- ・災害時支援ネットワーク

- ・三葉機械リース株式会社 (重機・建機)
- ・統売光と愛の事業団 (活動補助)
- ・災害救援レスキューアシスト(家屋修繕・技術系)
- ・赤い羽根共同募金 (活動補助)
- ・デンソー はあとふる基金 (活動補助)
- ・ヤンマーホールディングス株式会社 (重機・資機材)
- ・ヤンマー建機株式会社 (重機)
- ・日本レスキュー協会 (捜索救助犬)
- ・佐賀災害支援プラットフォーム (コーディネート)
- ・災害NGO 結 (コーディネート)
- ・山紀建設(ゼネラルアドバイザー)
- ・特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアースセンター (悪路対策マット)
- ・長野県警察本部機動隊
- ・株式会社中村商会 (資機材輸送)
- ・宗教法人通照寺 (活動補助)
- ・株式会社ホンダワーク/ PLOW (資機材)
- ・KDDI エンジニアリング株式会社
- ・株式会社三和ボーリング (防災井戸)
- ・NTT 東日本長野支店 (防災啓発)
- ・株式会社KOUSEI (資機材支援)
- ・コトヒラ工業株式会社(パイオトイレ)
- ・災害NGO ラブ&アース (コーディネート)
- ・株式会社ライトボーイ(照明器具)

<支援金のおねがい>

日本笑顔プロジェクトの活動は、自主財源に加え、皆様からの支援金のもとで成り立っております。災害による緊急支援や復旧作業などに万全の体制で臨めますよう、ご支援の程、なにとぞよろしくお願いいたします。

日本笑顔プロジェクト 代表 林映寿

PayPay 銀行 (ペイペイ銀行)
支店名: ビジネス営業部
口座番号: 6 3 6 6 6 9 6
口座名: 一般財団法人日本笑顔プロジェクト

八十二銀行 (ハチジュウニギンコウ)
小布施 (オブセ) 支店 (252)
口座番号 普通: 2 4 2 4 3 1
口座名 一般財団法人日本笑顔プロジェクト
※振込時に7桁の指定がある場合は、
先頭部分に「0」を入力して、
[0 2 4 2 4 3 1] としてください。

★八十二銀行の口座を変更いたしました。

能登町の一般社団法人新村新友会の皆さまと出会いました。新村新友会のご協力のもと能登町にnuovo能登サテライトを立ち上げ、11月から被災地で講習会を開催しています。3月末までの期間限定となりますが整地・解体を合わせて13回、のべ66名に受講していただきます。

しさを仲間と共有することで子ども心を思い出せる温かい雰囲気大切にしています。地域の皆さんが集まり、重機を使った体験を通じて楽しく交流できる場所をめざして奮闘しています。通われる皆さんの日常に彩りを添え、防災意識の向上に寄与できる拠点として、皆さんを心よりお待ちしております。



発行 2025年3月31日

発行者 一般財団法人日本笑顔プロジェクト
代表 林映寿
〒381-0211 長野県上高井郡小布施町
雁田 676 浄光寺内
電話: 070-2023-5110
HP <https://egaonowa.net/>

制作 燕游舎

笑顔NEWS

笑顔
NIHON EGAO FOUNDATION



Vol.17



12月6日から9日の4日間にわたってN高等学校とS高等学校の生徒10名がnuovo小布施に重機の資格取得をめざしてやってきました。両校は学校法人角川ドワンゴ学園が設立した通信制高等学校です。N高は沖縄に、S高は茨城にそれぞれ本校を置き、全国47都道府県をはじめ海外からも含め3万人以上の生徒がオンラインで学んでいます。オンライン学習だけでなく全国の自治体などと連携して職業体験なども積極的にっており、その一環の新しい試みとして「災害に強い自分を作る! 重機操作や火の扱いを学ぶ ~災害対策実践キャンプ in 小布施~」と題して、重機の資格取得を中心に災害時のサバイバル能力の向上もめざした体験学習が行われました。2名の引率職員とともにnuovo小布施に会場した10名の中にはニュージーランドから参加した生徒もいました。定員に対して5倍以上の50名を超える応募があったそうで、若者

の災害支援への関心の高さに驚かされました。

1日目。午後にnuovo小布施に到着した生徒達は、さっそく災害時にも役立つサバイバル術に挑戦。刃物を使って付け木を作り、スターターを使って小さな火種を作り、その火を付け木に移して火をおこしました。普段はオンライン学習で顔を合わせることがなく、お互いに初対面の生徒たちでしたが、グループごとに知恵を出し合い、協力しながらチームが出来上がっていききました。nuovo小布施の循環型農場からネギを収穫し、おこした火で焼いて食べました。焼きたてホクホク、とろとろのネギのおいしさ。さらに焼き鳥も。お腹いっぱい食べたころには、すっかり全員が打ち解けていました。寒さの中で知る火の有り難さとともに災害時に必要な術と「チーム力」を身につけました。

2日目は、小型車両系建設機械運転業務特別教育講習(整地)の実技講習。事前にeラーニングで学科講習を済ませて臨んだ生徒たちは、実際の重機を目の前にしてモチベーションがさらにアップ。機体説明が終わって、操作実技



に入ると、男女ともに熱心に課題にチャレンジしていました。

3日目は、小型車両系建設機械(解体用)運転業務特別教育講習。午前中は学科講習。午後から実技講習。2日連続の重機操作と若さかなせる習得スピードで操作は目をみはるばかりの上達ぶり。全員見事に整地と解体の資格を取得しました。重機の面白さと難しさを知り「さらに重機について学びたい」という声や、高校生のうちに資格を取得することで「将来や災害時に自分に何ができて、何を学ぶべきか」がわかったという感想がありました。

最終日の4日目は、nuovo飯田を運営する一般社団法人ARiSの荒井克哉、牧野勇気の両氏を講師に「災害医療 ~自助共助公助で守るいのち~」と題した学習。災害や災害医療について学び、心臓マッサージ・AEDの応急処置やSTART法口頭試問式のトリアージの実技体験も行いました。さらに自助・共助・公助についても考え、それぞれディスカッションを重視した講義により自分事として深い学びが得られたようです。

4日間を通じてオンラインでは成しえない生徒同士の絆が深まり、それぞれ災害に備える学びのスタートとなったようです。「仲間と協力する重要性を知った」「社会的なつながりが広がった」「自分と誰かのためになる知識や体験を得た」「災害時に自分がどう貢献できるかを知ることができた」との感想を得て、次年度も継続していくことになりました。

また2025年4月に開学するZEN 大学でも災害支援関連のカリキュラムとしての導入が検討されています。日本笑顔プロジェクトは、こうした若者向けのプログラムの開発にも積極的に取り組んでいます。



日本笑顔プロジェクト 活動の記録

(2024年12月—2025年2月)

2024 12月

- 1日 成田第63回解体重機講習 2名受講 累計2227名
6日 川島第49回重機講習 2名受講 ▶P.4 参照
6日～9日 第1回 災害に強い自分を作る! 重機操作や火の扱いを学ぶ
～災害対策実践キャンプ in 小布施～ 10名受講 累計2237名
① ▶P.1 参照
7日 川島 第10回ペーパードライバー重機講習 1名受講
広島・安佐北区第11回重機講習 2名受講 累計2239名
7日～8日 成田第10回不整地運搬重機講習 1名受講
8日 川島第19回午前解体重機講習 3名受講
14日 川島第50回重機講習 2名受講 累計2241名
第15回チェンソースキルアップ講習 2名受講
第SP5回重機講習 19名受講 累計2260名
広島・安佐北区第7回午前解体重機講習 4名受講
広島・安佐北区第8回午後解体重機講習 3名受講
大阪府島本町 第SP1回重機講習 2名受講 累計2262名
15日 第32回午前解体重機講習 3名受講
第33回午後解体重機講習 2名受講
川島第51回重機講習 2名受講 累計2264名
第16回チェンソースキルアップ講習 4名受講
第SP3回午後解体重機講習 3名受講
いすみ市スキルアップ講習②
HEROs AWARD 代表出席
19日 ST石川能登第3回重機講習 7名受講 累計2271名
20日 成田第149回重機講習 2名受講 累計2273名
川島第52回重機講習 1名受講 累計2274名
ST石川能登第1回午前解体重機講習 6名受講
ST石川能登第2回午後解体重機講習 1名受講



HEROs 講習会第3弾開催！能登支援へ

アスリートたちによる社会貢献実践活動「HEROs ACTION」。その災害支援活動の一環としてnuovo でアスリートたちが重機資格を取得する講習会の第3弾が3月10日・11日の2日間にわたって開催されました。日本笑顔プロジェクトのGA(ゼネラルアドバイザー)山本俊太さん(ヤマキさん)を統括にnuovo小布施のクルー、さらに成田と広島からも講師が駆けつけました。1日目の夜にはnuovoで炊き出し懇親会も行われ、焚き火を囲んでアスリートとクルーが語り合いました。

今回資格を取得したアスリートたちを含むHEROsと日本笑顔プロジェクトが3月末から4日間にわたって能登に復興支援に行きます。講習会第3弾と能登支援の様子は次号の『笑顔NEWS』で詳細をお伝えします。



- 21日～23日 NEXCO東日本バギー隊待機要請
第121回重機講習 7名受講 累計2281名
信州飯田第SP16回重機講習 4名受講 累計2285名
広島・安佐北区第12回重機講習 8名受講 累計2293名
ST石川能登第4重機講習 6名受講 累計2299名
22日 信州飯田第SP12回午後解体重機講習 2名受講
ST石川能登第3回午前解体重機講習 2名受講
26日 成田第SP25回重機講習 7名受講 累計2306名
27日～28日 NEXCO東日本バギー隊待機要請
28日 キッズアカデミー③

2025 1月

- 12日・13日 ST石川能登第5回重機講習 8名受講 累計2314名④
13日 広島・安佐北区第13回重機講習 1名受講 累計2315名
14日 川島第SP2回重機講習 6名受講 累計2321名
18日 広島・安佐北区女性限定第3回重機講習 1名受講 累計2322名
第122回重機講習 2名受講 累計2324名
川島第55回重機講習 1名受講 累計2325名
19日 広島・安佐北区第10回午後解体重機講習 1名受講
25日 キッズアカデミー
26日 広島・安佐北区第14回重機講習 9名受講 累計2334名⑤
29日 広島・安佐北区第SP3回重機講習 3名受講 累計2337名
31日 成田第153回重機講習 2名受講 累計2339名

2月

- 1日 前橋吉岡第1回ATV講習 3名受講⑥
2日 nuovo体験 2名参加
4日～8日 NEXCO東日本バギー隊待機要請
8日 川島 第12回ペーパードライバー重機講習 2名受講
成田第1回ATV講習 1名受講
9日 川島第23回午前解体重機講習 1名受講
信州飯田第SP19回重機講習 1名受講 累計2340名
成田第2回ATV講習 3名受講
14日 成田第65回午前解体重機講習 1名受講
15日 広島・安佐北区第11回午前解体重機講習 3名受講⑦
第124回(重機講習 2名受講 累計2342名
川島第60回重機講習 1名受講 累計2343名
一宮第SP3回重機講習 6名受講 累計2349名
16日 第SP4回午前解体重機講習 3名受講
17日 牧 和美様 他65名の皆様よりご寄付⑧
22日 広島・安佐北区女性限定第4回重機講習 1名受講 累計2350名⑨
信州飯田第SP20回重機講習 3名受講 累計2353名
キッズアカデミー
23日 広島・安佐北区第16回重機講習 1名受講 累計2354名
川島第64回重機講習 1名受講 累計2355名
信州飯田第SP15回午前解体重機講習 1名受講
26日 成田第SP26回重機講習 4名受講 累計2359名

サブスクのお昼にアツアツうどん!

寒い中、サブスクに通っていただいている皆さんに温まってもらいたい! そんな本部メンバーのささやかやおもてなしとして、11月～2月に数回、お昼に特製うどんを作って振る舞いました。具とおだしに愛情をいっぱい込めて召し上がっていただきました。焚き火を囲んで、どんぶりから立ち上がる湯気。みんなでフーフー言いながら楽しみました。



ある日の振る舞いはカレーでした。

